



# 同志社 大学 タク ブック 2012



[発行]同志社大学  
[編集]同志社大学企画部広報室広報課  
〒602-8580京都市上京区今出川通烏丸東入  
TEL:075-251-3120 FAX:075-251-3080

## ■ 同志社大学設立の旨意 (抜粋)

明治七年の末、胸中一片の宿志<sup>もたら</sup>を齎し、十余年来夢寐<sup>むび</sup>の間に髣髴<sup>ほうふつ</sup>たる我が本国に帰着せり。

明治八年十一月二十九日、同志社英学校を設立したり。是れ即ち現今同志社の設立したる創始なり。

斯<sup>か</sup>くの如くにして同志社は設立したり、然れども其目的とする所は、独り普通の英学を教授するのみならず、其徳性<sup>かんよう</sup>を涵養し、其品行を高尙ならしめ、其精神を正大ならしめんことを勉め、独り技芸才能ある人物を教育するに止まらず、所謂<sup>いっけん</sup>の良心を手腕<sup>しこう</sup>に運用するの人物を出さん事を勉めたりき。而して斯<sup>か</sup>くの如き教育は、決して一方に偏したる智育にて達し得可き者に非ず。

唯だ上帝を信じ、真理を愛し、人情を敦くする基督教主義の道徳に存することを信じ、基督教主義を以て徳育の基本と為せり。

吾人は政府の手に於て設立したる大学の実に有益なるを疑はず。然れども人民の手に抛って設立する大学の、実に大なる感化を国民に及ぼすことを信ず。

其生徒の独自一己の気象を發揮し、自治自立の人民を養成するに至っては、是れ私立大学特性の長所たるを信ぜずんば非ず。

一国を維持するは、決して二、三英雄の力に非ず。実に一国を組織する教育あり、智識あり、品行ある人民の力に抛らざる可からず。是等の人民は一国の良心とも謂ふ可き人々なり。而して吾人は即ち此の一国の良心とも謂ふ可き人々を養成せんと欲す。吾人が目的とする所実に斯くの如し。

明治二十一年十一月

同志社大学発起人 新島 襄

現代語訳

「同志社大学を設立する目的」(抜粋)

明治七年の末に長年抱いていたひとつの志を胸に秘めて、十年以上ものあいだ夢にまで思い浮かべたわが国に帰国した。

ただちに明治八年十一月二十九日に同志社英学校を設立した。これが現在の同志社設立の始まりなのである。

このようにして同志社は設立されたが、その目的はただ単に普通の英学を教えるだけでなく、徳性を磨き、品性を高尚にし、精神を正しく強めるように努め、ただ技術や才能のある人物を育成するだけでなく、いわゆる「良心を手腕に運用する人物」[良心の全身に充滿したる丈夫<sup>さつちゆう</sup>]を産み出すことに努めてきた。しかもこのような教育は、一方に片寄った智育だけでは決して達成できるものではない。

それはただ神を信じ、真理を愛し、他者に対する思いやりの情に厚いキリスト教の道徳によらなければならないと信じて、キリスト教主義を徳育の基本とした。

政府の手で設立された大学が実に有益なのは疑いない。けれども国民の手で設立された[私立]大学が、まことに大きな感化を国民に与えることも事実である。

学生が自分独自の気質を發揮し、自治、自立の国民を養成する点は、これこそ私立大学が持っている特性であり長所である、と信じて疑わない。

一国を維持するのは、決して二、三の英雄の力ではない。実に一国を形成する、教育があり、知識があり、品性の高い人たちの力によらなければならない。これらの人たちは「一国の良心」とも言うべき人たちである。そして私たちはこの「一国の良心」とも言うべき人々を養成したいと思う。私たちの目的は実にここにある。

明治二十一年十一月

同志社大学発起人 新島 襄

(「現代語で読む新島襄」から)



# Doshisha College Song

(Words by W.M. Vories, 1908)

One purpose, Doshisha, thy name  
 Doth signify; one lofty aim:  
 To train thy sons in heart and hand  
 To live for God and Native Land.  
 Dear Alma Mater, sons of thine  
 Shall be as branches to the vine;  
 Tho' through the world we wander far and wide,  
 Still in our hearts thy precepts shall abide!

対訳(児玉実英 訳)

同志社よ、その名は一つの目的を意味する。  
 その学徒の精神的、肉体的に、  
 神のため、祖国のため、生きんという  
 一つの崇高な目的を。  
 親愛なる母校よ、同志社の学徒は、  
 ぶどうの枝のごとくつながりゆくことであろう。  
 たとえ、世界くまなく、広くはるかに、  
 われらさまようとも、汝の教訓は、  
 われわれの心に永遠に生き続けることであろう。

## 同志社徽章

制定年/1893(明治26)年 デザイン/湯浅吉郎(半月)



正三角形を3つ寄せたこのマークは、国あるいは土を意味するアッシリア文字「ムツウ」を図案化したもの。考案者の湯浅半月は、本学が生んだ詩人(代表作『十二の石塚』)であり古代オリエント学者である。制定された当時、半月は本学の神学校教授であった。制定以来、知・徳・体の三位一体あるいは調和をめざす本学の教育理念をあらわすものと解釈されている。

### School Color of Doshisha

スクール・カラーはPurple&White(紫と白)の2色である。紫はロイヤル・パープルで日本の古代紫と江戸紫の中間色に相当する。創立者新島襄が学んだ米国アーモスト大学のスクール・カラーと同色である。社旗は、地を紫に、徽章を白で抜く。

## Contents

同志社大学設立の旨意	J-1	学生生活サポート	J-13
カレッジソング、徽章、コンテンツ	J-2	奨学金	J-14
同志社の原点	J-3	キャリア形成支援	J-15
沿革	J-4	国際交流	C-1
同志社大学組織図	J-5	産学連携・社会貢献、学術資料について	C-2
学部・学科INDEX	J-6	財務状況	C-3
学生数・教職員数	J-9	今出川キャンパス	C-4
志願者数・合格者数	J-10	京田辺キャンパス	C-6
教育	J-11	建物紹介	C-8
研究	J-12	アクセスマップ	C-9

## 同志社の原点

新島襄は137年前の日本において、「良心」と「自由」に満たされた学園を開拓する一方で、高尚な志の大切さを訴え続けました。

### 新島襄の志

新島襄(1843~1890)は、21歳で幕末の日本から密出国して渡米しました。人びとが奴隷扱いされ、息苦しい封建社会に束縛されることに我慢ができず、自由と人権を求めての冒険でした。

留学中、キリスト教徒となった新島は、しだいにひとつの夢を膨らませます。「自由」と「良心」に立つ人間を養成するキリスト教主義教育を日本でも、という夢です。

10年ぶりに帰国した新島は、さっそく京都に同志社英学校を創立しました。同志社は、「志を同じくするものが創る結社」です。その原点は、もちろん新島の志です。

Doshia College SongにもOne purposeとあります。これも「ひとつの志」、「同じ志」、すなわち「同志」を意味します。



新島の脱国扮装

### 「自由」と「良心」をベースに

新島の夢は、「良心」と「自由」に満たされた学園と社会の実現です。彼は、日本が自由で民主的な近代国家になるためには、一人ひとりの個性と人格が十分に尊重されることが、大事だと考えました。だから、同志社においても彼は生徒一人ひとりの人格を尊重しました。生徒はかけがえない「同志」でした。

新島は「遺言」の中でも、「学生を丁重に対応すること」を教職員に望みました。この遺訓は、今も本学では大事に守られています。

新島は、大学昇格を目指しながらも、募金運動の途中、志半ばで倒れました。

### 志の実現には200年

未完に終わった新島の遺志は、教え子たちなどによって引き継がれ、死後22年にしてようやく同志社大学が実現しました。

生前、新島は勝海舟に「大学の完成には200年」と答えています。すでに創立130年以上を経た本学ですが、いまでも新しい学部や大学院の設置を始め、先端的教育・研究体制の整備や充実、組織の改編などに積極的に取り組んでいます。まだまだ発展途上の学園だからです。

これからも、教職員や卒業生はもちろん、学生一人ひとりが、同志社の「原点」である新島の志を中軸にした「同志」となって、彼が目指した大学の完成を目指します。



新島が脱国し、渡米のために乗船したワイルドローヴァー号(油絵:チャタム歴史協会所蔵)



# 沿革

1875(明治 8)年11月29日	官許「同志社英学校」を寺町に開校 新島襄初代社長に就任	1953(昭和28)年 4月	大学院博士課程を開設
1876(明治 9)年 9月	今出川校地(相国寺門前の薩摩藩邸跡)に 校舎、食堂を建て寺町から移る	1954(昭和29)年 4月	短期大学部を発展的に解消、大学2部(4年制) (文・法・経済・商・工 各学部)を設置
1884(明治17)年 9月	彰栄館竣工(国の重要文化財) 同志社最初の煉瓦建築	1955(昭和30)年 4月	工学研究科修士課程を開設
1886(明治19)年 6月	新礼拝堂(チャペル)竣工(国の重要文化財)	1986(昭和61)年 4月	田辺校地(現・京田辺校地)を開校
1887(明治20)年11月	書籍館(現・有終館)開館(国の重要文化財) 同志社病院・京都看護婦学校の開院、開校式	1991(平成 3)年 4月	アメリカ研究科を開設
1888(明治21)年11月	「同志社大学設立の旨意」を全国の主要雑誌・ 新聞に発表	1994(平成 6)年 4月	工学部および工学研究科、理工学研究所を 田辺校地(現・京田辺校地)に統合移転
1890(明治23)年 1月23日	新島、静養先の神奈川県大磯にて永眠(46歳)	1995(平成 7)年 4月	総合政策科学研究科を開設
7月	アメリカの実業家J.N.ハリスの10万ドルの寄付 によるハリス理化学館竣工(国の重要文化財)	1999(平成11)年 4月	留学生別科を開設
9月	ハリス理化学校開校	2003(平成15)年 4月	大学院文学研究科産業関係学専攻修士課程を 開設
1891(明治24)年 9月	政法学校開校	2004(平成16)年 4月	政策学部を開設
1894(明治27)年 1月	神学館(現・クラーク記念館)開館式 (国の重要文化財)		工学部に情報システムデザイン学科、 環境システム学科を開設
1896(明治29)年 4月	普通学校を同志社高等普通学校と改称し、 新たに同志社尋常中学校を開設		法科大学院(司法研究科)を開設
1904(明治37)年 4月	専門学校令による神学校と専門学校を開校		経営大学院(ビジネス研究科)を開設
1912(明治45)年 4月	専門学校令による同志社大学(予科、神学部、 政治経済部、英文科)の開学	2005(平成17)年 4月	文学部・文化研究科を再編して社会学部・ 社会学研究科を開設 文化情報学部を開設
1920(大正 9)年 4月	大学令による同志社大学(文学部、法学部、 大学院、予科)の開学	2006(平成18)年 4月	同志社小学校を開校
1922(大正11)年 4月	専門学校令による大学を専門学校(神学部、 英語師範部、高等商業部、政治経済部)として 再編成	2007(平成19)年 4月	文化情報学研究科を開設
1944(昭和19)年 4月	工業専門学校(電気通信科、機械科、 化学工業科)開校	2008(平成20)年 4月	工学部から理工学部へ改組再編 生命医科学部・生命医科学研究科を開設 スポーツ健康科学部を開設
1948(昭和23)年 4月	新制大学 (神学部、文学部、法学部、経済学部)開学	2009(平成21)年 4月	心理学部・心理学研究科を開設
1949(昭和24)年 4月	商学部と工学部を新設し、6学部となる	2010(平成22)年 4月	グローバルスタディーズ研究科を開設 スポーツ健康科学研究科を開設
1950(昭和25)年 4月	大学院修士課程 (神・文・法・経済・商 各研究科)を開設	2011(平成23)年 4月	グローバルコミュニケーション学部を開設 同志社国際学院初等部を開校
1950(昭和25)年 4月	短期大学部(夜間2年制) (英語・商経・工 各学科)を設置	2012(平成24)年 4月	脳科学研究科を開設
		2013(平成25)年 4月	グローバル地域文化学部開設予定

2012(平成24)年7月現在

## 学部

神学部	神学科
文学部	英文学科
	哲学科
	美学芸術学科
	文化史学科
社会学部	国文学科
	社会学科
	社会福祉学科
	メディア学科
	産業関係学科
法学部	教育文化学科
	法律学科
経済学部	政治学科
	経済学科
商学部	商学科
政策学部	政策学科
文化情報学部	文化情報学科
理工学部	インテリジェント情報工学科
	情報システムデザイン学科
	電気工学科
	電子工学科
	機械システム工学科
	エネルギー機械工学科
	機能分子・生命化学科
	化学システム創成工学科
	環境システム学科
	数理システム学科
生命医科学部	医工学科
	医情報学科
	医生命システム学科
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科
心理学部	心理学科
グローバルコミュニケーション学部	グローバルコミュニケーション学科
グローバル地域文化学部	グローバル地域文化学科
(2013年4月開設)	
国際教育インスティテュート(ILA)	
日本語・日本文化教育センター(留学生別科)	

## 大学院

	博士課程(前期課程) 修士課程	博士課程(後期課程)
神学研究科	神学専攻	神学専攻
文学研究科	哲学専攻	哲学専攻
	英文学・英語学専攻	英文学・英語学専攻
	文化史学専攻	文化史学専攻
	国文学専攻	国文学専攻
社会学研究科	美学芸術学専攻	美学芸術学専攻
	社会福祉学専攻	社会福祉学専攻
	メディア学専攻	メディア学専攻
	教育文化学専攻	教育文化学専攻
	社会学専攻	社会学専攻
法学研究科	産業関係学専攻	産業関係学専攻
	政治学専攻	政治学専攻
	私法学専攻	私法学専攻
経済学研究科	公法学専攻	公法学専攻
	理論経済学専攻	経済政策専攻
商学研究科	応用経済学専攻	
	商学専攻	商学専攻
総合政策科学研究科	総合政策科学専攻	総合政策科学専攻
文化情報学研究科	技術・革新的経営専攻[一貫制博士課程]	
	文化情報学専攻	文化情報学専攻
理工学研究科	情報工学専攻	情報工学専攻
	電気電子工学専攻	電気電子工学専攻
	機械工学専攻	機械工学専攻
	工業化学専攻	工業化学専攻
	数理環境科学専攻	数理環境科学専攻
	医工学医情報学専攻	医工学医情報学専攻
生命医科学研究科	医生命システム専攻	医生命システム専攻
	スポーツ健康科学専攻	スポーツ健康科学専攻
心理学研究科	心理学専攻	心理学専攻
グローバルスタディーズ研究科	グローバルスタディーズ専攻	グローバルスタディーズ専攻
脳科学研究科	発達加齢脳専攻[一貫制博士課程]	
司法研究科(法科大学院)		[専門職学位課程] 法務専攻
ビジネス研究科(ビジネススクール)		[専門職学位課程] ビジネス専攻



	神学部	文学部	社会学部	法学部
<b>設立年</b>	1875年同志社創立以来の神学研究機関	1875年同志社創立以来の英文学科をはじめ、5学科で構成	2005年社会学部から独立し、新たに5学科でスタート	1891年開校の政法学校政治科が前身
<b>学科(1学年定員)</b>	神学科(60)	英文学科(300) 哲学科(65) 美学芸術学科(65) 文化史学科(120) 国文学科(120)	社会学科(82) 社会福祉学科(93) メディア学科(83) 産業関係学科(82) 教育文化学科(75)	法律学科(650) 政治学科(200)
<b>主たるキャンパス</b>	今出川	1・2年次:京田辺 3・4年次:今出川	今出川	1・2年次:京田辺 3・4年次:今出川
<b>学部の特徴</b>	①キリスト教、イスラム、ユダヤ教の3つの一神教を学ぶ世界有数の教育環境 ②「文明の共存」をめざして、国際的に活躍できる人物を養成	①日本文化伝統の地、京都で本物の文化に触れ、生きた学びを体感 ②歴史ある少人数教育による手厚い教育指導を実施	①人間と社会の関わりを焦点に、社会現象を理論的に解明 ②現場の体験を重視した実践的な教育、フィールドワークと実習が充実	①企業法務・ジャーナリストなど将来の専門キャリアのための実践的教育を展開 ②大学院との提携による高度な専門教育を展開
<b>取得できる免許・資格</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(宗教)</li> <li>●高等学校教諭1種(宗教)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(英語、国語、社会)</li> <li>●高等学校教諭1種(英語、国語、地理歴史、公民)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul> <p>(注2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(社会)</li> <li>●高等学校教諭1種(地理歴史、公民、福祉)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul> <p>(注2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(社会)</li> <li>●高等学校教諭1種(地理歴史、公民)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul>
(注1)				
<b>関連ある主な資格</b>	牧師 など	考古学技師 など (注3)	社会調査士、社会福祉士、精神保健福祉士 など (注3)	弁護士、裁判官、検察官、公認会計士、税理士、司法書士、行政書士、宅地建物取引主任者、社会保険労務士など
<b>卒業後の主たる進路①(就職)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育・福祉</li> <li>●牧師</li> <li>●大手企業(サービス、商社など)</li> <li>●国際機関</li> <li>●国家・地方公務員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育・福祉</li> <li>●国家・地方公務員</li> <li>●博物館学芸員</li> <li>●大手企業(金融、出版、サービスなど)</li> <li>●図書館司書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育・福祉</li> <li>●国家・地方公務員</li> <li>●シンクタンク</li> <li>●大手企業(マスコム、サービス、銀行、保険、証券 など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●弁護士、裁判官、検察官</li> <li>●国家・地方公務員</li> <li>●ジャーナリスト</li> <li>●大手企業(金融、流通、メーカー など)</li> </ul>
<b>卒業後の主たる進路②(大学院)</b>	同志社大学大学院：神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済学研究科、商学研究科、総合政策科学研究科、文化情報科学研究科、理工学研究科、生命医科学研究科、スポーツ健康科学研究科、心理学研究科、グローバルスタディーズ研究科 同志社大学専門職大学院：司法研究科(法科大学院)、ビジネス研究科(ビジネススクール)			

注1 小学校教諭1種は神戸親和女子大学通信教育部(男女共学)との連携による 注2 取得できる教員免許の教科は学科によって異なる 注3 関連ある資格は学科によって異なる

	経済学部	商学部	政策学部	文化情報学部
設立年	1891年開校の政法学校 理財科が前身	1922年開校の専門学校 高等商業部が前身	2004年度開設。 政治・行政学、法学、経済学、組織論の4領域を統合した学部	2005年度開設。 文理統合の学部
学科(1学年定員)	経済学科(850)	商学科(850)	政策学科(400)	文化情報学科(280)
主たるキャンパス	1・2年次:京田辺 3・4年次:今出川	1・2年次:京田辺 3・4年次:今出川	今出川	京田辺
学部の特徴	①経済学への理解を深め、論理的思考や政策立案能力を養成 ②充実した情報教育により社会で活躍できる人物を養成	①公認会計士、税理士などの合格者数は全国トップレベル ②様々な分野の実務家による実践的な授業を展開	①自ら問題を発見し、解決できる能力を育成 ②多角的な視点で、政策課題を学ぶ専門教育を展開	①人間の営みである「文化」を分析し、新たな見方を発見 ②高度なデータ分析能力を修得し、情報を使いこなせる能力を育成
取得できる免許・資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(社会)</li> <li>●高等学校教諭1種(地理歴史、公民)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(社会)</li> <li>●高等学校教諭1種(地理歴史、公民、商業)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(社会)</li> <li>●高等学校教諭1種(公民)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(数学、社会)</li> <li>●高等学校教諭1種(数学、情報、地理歴史、公民)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul>
(注1)				
関連ある主な資格	公認会計士、税理士、中小企業診断士、ITパスポート、基本情報技術者、ネットワークスペシャリスト など	公認会計士、税理士、中小企業診断士、証券アナリスト、ファイナンシャルプランナー、ITパスポート など	公認会計士、税理士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、宅地建物取引主任、社会保険労務士 など	社会調査士、情報処理技術者 など
卒業後の主たる進路①(就職)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手企業(金融、メーカー、流通、マスコミ など)</li> <li>●シンクタンク、コンサルティング</li> <li>●国家・地方公務員</li> <li>●公認会計士、税理士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公認会計士、税理士</li> <li>●大手企業(銀行、保険、証券、コンサルティング、流通 など)</li> <li>●企業経営者</li> <li>●国家・地方公務員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手企業(企画・国際・人事部門 など)</li> <li>●国家・地方公務員</li> <li>●NPO、NGO</li> <li>●国際機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手企業(銀行、商社などの情報分析部門)</li> <li>●システムエンジニア</li> <li>●シンクタンク</li> <li>●博物館学芸員</li> </ul>
卒業後の主たる進路②(大学院)	同志社大学大学院：神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済心理学研究科、グローバルスタディーズ研究科 同志社大学専門職大学院：司法研究科(法科大学院)、ビジネス研究科(ビジネススクー)			

注1 小学校教諭1種は神戸親和女子大学通信教育部(男女共学)との連携による 注2 取得できる教員免許の教科は学科によって異なる 注3 関連ある資格は学科によって異なる  
 注6 申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の内容が変更となる可能性がある



理工学部	生命医科学部	スポーツ健康科学部	心理学部	グローバルコミュニケーション学部	グローバル地域文化学部 <sup>(注4)</sup>
1890年開校のハリス理化学校が前身。 2008年度改組再編	2008年度開設。 工学・医学・理学の融合的なフィールドにおいて、「生命」を対象とした先端的な教育研究を行う	2008年度開設。 多角的かつ科学的な視点でスポーツと健康の関係について学修する	2009年度開設。 専門的な講義および少人数クラスにおける演習・実習を通じて、高度な知識と技術をも身につける	2011年度開設。 高度な外国語運用能力とともに、幅広い教養、異文化理解力を養う	2013年度開設予定の新学部。 「グローバル」な視点から各地域の諸問題を見る眼を養う
インテリジェント情報工学科(80) 情報システムデザイン学科(80) 電気工学科(75) 電子工学科(85) 機械システム工学科(90) エネルギー機械工学科(70) 機能分子・生命化学科(80) 化学システム創成工学科(80) 環境システム学科(50) 数理システム学科(40)	医工学科(90) 医情報学科(90) 医生命システム学科(60)	スポーツ健康科学科(210)	心理学科(150)	グローバル・コミュニケーション学科(150)	グローバル地域文化学科(180)  (注4)
京田辺	京田辺	京田辺	京田辺	京田辺	今出川
①次世代の技術革新に対応するため、理工学の基礎を徹底的に教育 ②世界トップレベルの施設を完備し、大学院進学率は50%以上	①工学と医学の融合分野における先端科学領域で活躍するエンジニアや研究者を育成 ②工学、医学、基礎生物学など多様な学問との統合的教育研究	①人々の健康増進、スポーツの社会的発展に貢献できる人材を育成 ②学内外の研究・医療機関と連携し、充実した研究環境を提供	①3つの履修コースによる体系的で専門性の高い教育を展開 ②伝統の少人数教育のもとと実践・実習の充実、社会にリンクするプロジェクト型教育などにより実践的問題解決能力を育成	①卓越した実用的外国語運用能力を育成。 1年間のStudy Abroad必修(英語コース、中国語コース) ②グローバル社会でfacilitator, negotiator, administratorとして活躍できる人物を育成	①それぞれの地域の社会的、文化的特質や、地球規模で起こるさまざまな課題にグローバルな視点を持って取り組める人材を育成 ②ヨーロッパ、アジア・太平洋、アメリカの3つのコースいずれかに属して各地域の言語を運用する能力を修得
<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(数学、理科)</li> <li>●高等学校教諭1種(数学、理科、情報、工業)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul> (注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(数学、理科)</li> <li>●高等学校教諭1種(数学、理科、情報、工業)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul> (注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(保健体育)</li> <li>●高等学校教諭1種(保健体育)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭1種</li> <li>●中学校教諭1種(社会)</li> <li>●高等学校教諭1種(公民)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭</li> <li>●博物館学芸員 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図書館司書</li> <li>●博物館学芸員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校教諭一種(注5)</li> <li>●中学校教諭一種(社会)(注6)</li> <li>●高等学校教諭一種(地理歴史)(注6)</li> <li>●図書館司書</li> <li>●学校図書館司書教諭(注5)</li> <li>●博物館学芸員</li> </ul>
電気主任技術者、電気工事士、陸上無線技術士、弁理士 など  (注3)	弁理士、技術士、情報処理技術者 など	健康運動指導士、各種スポーツ指導者資格、障害者スポーツ指導員 など	認定心理士 など	TOEFL, TOEIC, 実用英語技能検定(英検)、実用英語技能検定(英検)、国際連合公用語英語検定試験(国連英検)、中国語検定試験、漢語水平考試(HSK)、J.TEST実用日本語検定、BJTビジネス日本語能力テスト など	TOEFL, TOEIC, 実用英語技能検定(英検)、IELTS, ドイツ語技能検定試験, Zertifikat Deutsch, 実用フランス語技能検定試験, DELF, 中国語検定試験, HSK, スパニッシュ語技能検定, DELE, ロシア語能力検定試験, 「ハングル」能力検定試験, 韓国語能力試験 など
<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手企業(通信、電子部品、半導体、機械、電気、自動車、化学などの技術部門・研究部門)</li> <li>●国際機関</li> <li>●国家・地方公務員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手企業(医療機器、自動車、機械、電気・電子機器、製薬、通信情報、化学 など)</li> <li>●企業・公的研究機関の研究開発職</li> <li>●教育・福祉関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手企業(医療、健康、食品、スポーツ関連)</li> <li>●中学・高等学校保健体育教員</li> <li>●スポーツ振興の自治体職員</li> <li>●プロスポーツマネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手企業(メーカー、サービス、金融、商社、マスコミ)</li> <li>●教育、医療、福祉</li> <li>●国家・地方公務員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手企業(商社、貿易会社、マスコミ、航空、海運、旅行 など)</li> <li>●NPO、NGO</li> <li>●通訳、翻訳家</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間企業(メーカー、商社、旅行会社 など)</li> <li>●国際交流を推進する地方自治体</li> <li>●国際交流に関わる国内機関、国際機関(NPO・NGOを含む)</li> </ul>

学研究科、商学研究科、総合政策科学研究科、文化情報学研究科、理工学研究科、生命医科学研究科、スポーツ健康科学研究科、

ル)

注4 2013年4月開設予定 注5 中学校教諭一種(社会)、高等学校教諭一種(地理歴史)の教職課程の認可が前提

## 所属別学生数

2012.4.30現在(単位:人)

学部・研究科名	学部生(女子)	大学院生(女子) (前・修士)	大学院生(女子) (後)	大学院生(女子) (一貫制)
神学部・神学研究科	309 (170)	45 (17)	40 (12)	—
文学部・文学研究科	3,080 (1,957)	91 (50)	63 (25)	—
社会学部・社会学研究科	1,915 (976)	58 (42)	60 (24)	—
法学部・法学研究科	3,853 (1,375)	153 (61)	26 (8)	—
経済学部・経済学研究科	3,861 (961)	12 (4)	19 (10)	—
商学部・商学研究科	3,767 (1,400)	61 (31)	13 (2)	—
政策学部・総合政策科学研究科	1,749 (793)	110 (45)	106 (39)	22(3)
文化情報学部・文化情報科学研究科	1,274 (568)	45 (24)	15 (6)	—
理工学部・理工学研究科	3,624 (455)	786 (67)	50 (9)	—
生命医科学部・生命医科学研究科	1,114 (365)	162 (25)	13 (3)	—
スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科	679 (228)	22 (8)	0 (0)	—
心理学部・心理学研究科	655 (434)	22 (14)	18 (16)	—
グローバル・コミュニケーション学部	296 (200)	—	—	—
アメリカ研究科	—	—	11 (4)	—
グローバル・スタディーズ研究科	—	84 (50)	34 (16)	—
脳科学研究科	—	—	—	5(4)
小計	26,176 (9,882)	1,651 (438)	468(174)	27(7)
司法研究科	—	208 (73)	—	—
ビジネス研究科	—	112 (24)	—	—
小計	—	320 (97)	—	—

※社会学部・研究科の2004年度以前生は、本来文学部・研究科の所属であるが、本表では社会学部・研究科として算出している  
 ※心理学部・研究科の2008年度以前生は、本来文学部・研究科の所属であるが、本表では心理学部・研究科として算出している  
 ※理工学部は、2008年度に工学部より名称変更したため、工学部2007年度以前生は理工学部生として算出している  
 ※理工学研究科は、2012年度に工学研究科より名称変更したため、工学研究科2011年度以前生は理工学研究科生として算出している  
 ※アメリカ研究科は、2010年度にグローバル・スタディーズ研究科に改組したため、アメリカ研究科は2009年度以前生、グローバル・スタディーズ研究科は2010年度以降生の学生数である

## 校地別学生数

2012.4.30現在



※京田辺校地には学研都市キャンパスを含む

## 教職員数

2012.5.1現在

教員数 (単位:人)			職員数 (単位:人)		
専任教員	嘱託講師	合計	専任職員	非専任職員	合計
778	1,370	2,148	320	435	755

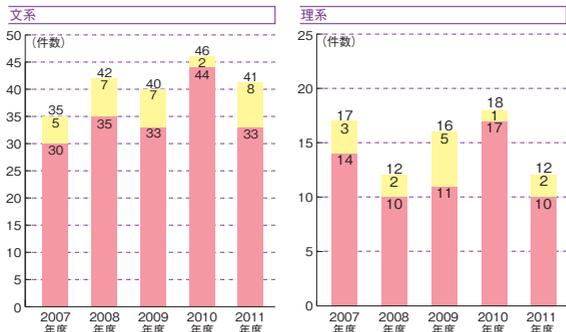
## 学位授与数

2012.3.31現在

2011年度 学部卒業業者数・大学院修了者数 ※下記の数は春学期卒業・修了者を含みます。(単位:人)

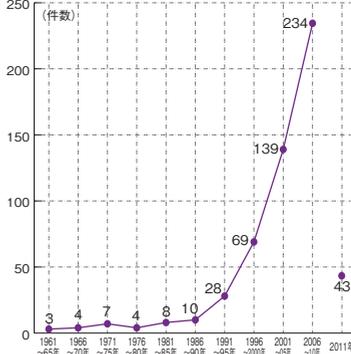
学部	学位授与数																			合計																
	神	英	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文		文															
学部	311	67	77	75	105	112	2	2	1	97	120	95	87	50	68	118	88	288	820	341	2266	90	84	74	80	119	59	91	112	51	29	202	135	5,576		
大学院	14	—	36	—	26	—	70	5	18	62	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	377	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	696
大学院	1	—	2	—	3	—	2	—	1	0	10	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	
大学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	147

▼過去5年 博士学位授与数[論文博士:課程博士] 論文博士 課程博士



※文系:理工学・生命医科学研究科を除く各研究科の学位授与数合計、理系:理工学・生命医科学研究科の学位授与数合計

▼博士学位授与数の推移[課程博士]

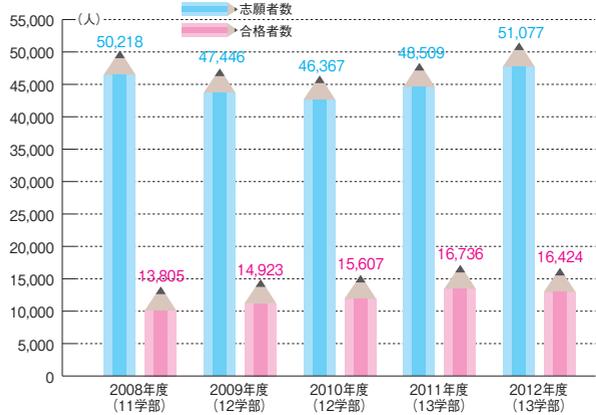




## 入学試験(一般選抜・センター利用入試) 総志願者・合格者数(推移グラフ)

本学では、一般選抜入学試験として全学部日程(理系・文系)と学部個別日程の2つの日程を設けており、両日程の併願により、同一学部・学科・コースを2回受験できるシステムとしています。

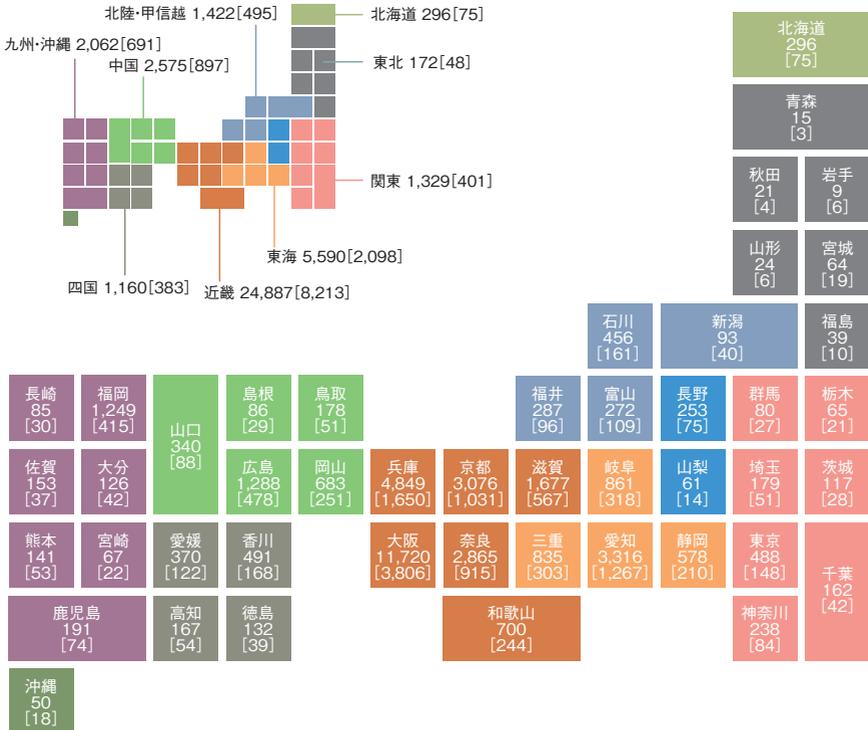
毎年、学部を問わず受験回数が多くなると合格率が高くなっており、本学の入試問題が学部によって出題傾向や難易度などに大きな差がないことがその要因であると考えられます。また、地方試験会場として全国17都市で受験が可能となっており、2013年度入試からは高崎会場を廃止し、新潟会場(全学部日程のみ)を新設します。



## 2012年度 一般選抜入学試験 志願者・合格者数(都道府県別)

2012.3.31現在(単位:人)

※ [ ]内の数字は合格者数を表します。

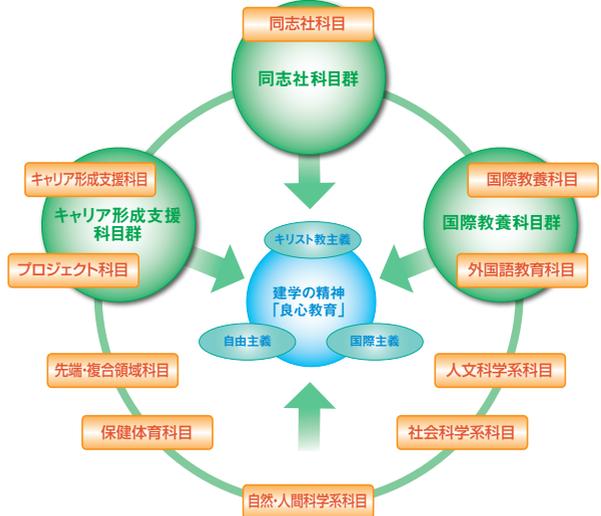


## 全学共通教養教育科目

全学共通教養教育科目とは、全ての学部学生を対象とした共通の教養教育科目のことです。全学共通教養教育科目では、本学の建学の精神である「良心教育」を、「キリスト教主義」「自由主義(自治自立の精神)」「国際主義」という三つの教育理念に基づき、リベラルアーツ教育の伝統を受け継ぎながら現代において展開しており、幅広い学問分野にわたり、充実した科目を開設しています。

全学共通教養教育科目の履修を通じて、大学で学ぶ上での基礎を身につけるとともに、学問の奥深さを知ることにより、自由にかつ主体的に自らの学びを積極的に広げていく、これは専門分野の研究を進める上でも、欠くことのできない重要なことです。

本学の教養教育は自ら問題を発見し、解決する「主体的な学び」の姿勢へ意識を転換した上で、「知」を「総合化」し、多様な人々の中で積極的に行動できる「人間力」を身につけることを目的としています。



## プロジェクト科目

従来の講義スタイルとは異なった実践型・参加型の学習機会を重視したプロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)を基本とする。授業科目「プロジェクト科目」を2006年度から設置しています。この「プロジェクト科目」は地域社会や企業の方々に講師をお願いし、地域社会と企業がもつ「教育力」を大学の正規の教育課程の中に導入することによって、学生に生きた知恵や技術を学ばせるとともに、「現場に学ぶ」視点を育み、実践的な問題発見・解決能力など、いわば学生の総合的人間力を養成することを目的としています。

テーマ  
2012  
年度採択  
(抜粋)

- 食育と健康(薬膳と野菜作りで、正しい食事と健康を考える)
- ものづくり・人づくり
- 子供の成長に良い玩具の考察と企画
- 梅田スカイビル(空中庭園・飲食店街他)魅力アップ提案
- 京都の織物文化活性化計画!〜織物の伝統技術について考えよう〜
- 京の台所・錦市場を中心に「京の食文化」を留学生に発信しよう!
- 京都市伏見地域活性化プロジェクト
- 地域コミュニティの活性化に向けて -「学生と地域の共生・共働・共汗を目指す!」-



## ◆「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」に採択\*

中間報告において 唯一最高ランク「S」評価を獲得。

教育理念のひとつに掲げる「国際主義」のさらなる現代的実質化を図り、知と精神の国際的多様性を尊重し、global issuesの解明・解決に貢献する国際的教育研究拠点へと発展させます。

- 日本の伝統・文化の原点である京都の中心に位置する本学の文化、精神的環境を最大限活用する
- 英語のみで学位が取得できるコースを開設
  - ▶ ビジネス研究科グローバルMBAコース(2009年9月)
  - ▶ グローバル・リベラルアーツ研究科アメリカ研究クラスターおよびグローバル・リベラル社会研究クラスター(2010年4月)
  - ▶ 理工・生命系研究科の国際科学技術コース(2010年9月)
  - ▶ 文系6学部横断型の国際教育インスティテュート国際教養コース(2011年4月)
- 高度な外国語運用能力を生かして即戦力になる職業人を育てるグローバルコミュニケーション学部を開設(2011年4月)
- 国際的な地域理解能力を持つ人物の育成を目指すグローバル地域文化学部を開設予定(2013年4月)
- 外国人留学生受入到達目標数を、2013年までに2,200名とする(申請時2009年5月現在511名)
- 海外派遣留学を促進・支援し、2013年に750名の派遣を目指す
- 大学間・学部間協定校を2013年までに170大学程度に増やす
- 海外の複数地域に教育研究拠点(台湾、ロンドン、ハノイ、北京、上海、ソウル、イスタンブールなど8カ国10カ所)を設置する



\*「国際化拠点整備事業(グローバル30)」は、2011年度より「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」として組み立てられました。